

みんなで育むまちづくりの森
うるおいと にぎわいのまち 東近江市
をめざして



これからの地方自治は、「自己決定・自己責任」を基本に、地域の創意工夫による個性豊かで活力に満ちた地域社会を築いていく必要があります。このため、地方分権に対応できる自治体づくりをめざし、平成17(2005)年2月11日に、八日市市・永源寺町・五個荘町・愛東町及び湖東町が合併して東近江市が誕生いたしました。また、平成18(2006)年1月1日には、東近江市と能登川町・蒲生町が合併し、新たな「東近江市」が発足しました。

このような中、これまでそれぞれの地域で先人が育み、継承してきた豊かな自然や歴史文化を大切にしながら、市の一体感の醸成をはじめ、様々な取り組みを進めてまいりました。今後、地域住民が主体となる「住民自治」への流れをさらに進めるためには、自助・共助・公助の連携を基本に「市民と行政の協働」による新たなまちづくりを進めることが大切であると考えます。

このため、本市のまちづくりの指針として、平成28(2016)年度を目標年次とする基本構想を定め、前期基本計画と併せて、東近江市総合計画を策定いたしました。

本計画では、人々の営みの場である「まち」を多くの生命を育む「森」にたとえ、また、本市の豊かな自然や歴史文化を次代へ大切に育て引き継ぐことを願い、「まちづくりの森」という考え方を掲げました。そして、本市の将来像を「～ みんなで育むまちづくりの森 ～ うるおいと にぎわいのまち 東近江市」とし、一人ひとりが東近江市民としての誇りが持て、「住んでよかった」と思っていただけまちづくりの実現に向けて努力してまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、多くの市民の皆様をはじめ、真摯なご議論を重ねていただきました総合計画審議会及びまちづくり懇話会各委員、ならびに市議会、関係各位に厚くお礼を申し上げます。

平成19(2007)年3月

東近江市長 **中村 功一**